



一層の需要拡大を——と挨拶する上村支部長
＝鹿児島市のかこしま平安閣で



和田正憲新支部長

県環境保全協会鹿児島市支部(上村勲支部長)は15日、鹿児島市のかこしま平安閣で14年度通常総会を開き、合併処理浄化槽設置整備事業の推進や浄化槽の適正化の推進した。

総会では、上村支部長が「昭和53年に設立し23年が経ち、会員数も101社に増えています。業界が依然厳しい中、14年度の浄化槽設置数も減少すると思われまふ。景気

県環境保全協会鹿児島市支部(上村勲支部長)は15日、鹿児島市のかこしま平安閣で14年度通常総会を開き、合併処理浄化槽設置整備事業の推進や浄化槽の適正化の推進した。

総会では、上村支部長が「昭和53年に設立し23年が経ち、会員数も101社に増えています。業界が依然厳しい中、14年度の浄化槽設置数も減少すると思われまふ。景気

新支部長に和田正憲氏

県環境保全協会鹿児島市支部総会

回復はもとより、技術の研さんで合併処理浄化槽設置整備事業の需要拡大に努めてほしい」と挨拶した。

続いて、上村支部長を議長に選出し審議に入り、13年度事業経過報告・決算承認及び会計監査、14年度事業計画・収支予算案等を原案通り可決承認した。また、任期満了に伴う役員改選では新支部長に和田氏、副支部長に青野淳一氏(アムズ)、藤山正博氏(信興工業社)、上村勲氏(有田産業)を選出した。

県と熊本県が整備を進めていた国道267号の大口市と人吉市にまたがる「久七トンネル(仮称)」の貫通式が15日、大口市の同トンネル坑内で行われ、両県の行政関係者や施工業者ら約270人が出席して貫通を祝うことと、工期内完成と無事貫通を誓った。

貫通式では、直江延明県土木部長、森勝彦鹿児島県道工務所長、小里貞利衆議、加治屋義人参議が貫通掘削の儀を行い、スイッチが押される

残る工期の無事祈る

大口市—人吉市延長3.9^{キロ}



貫通スイッチを点火する直江県土木部長(左)らと貫通を祝い盛大に鏡開きを行う関係者ら(下)＝大口市の久七トンネル工事現場で

と轟音が響きわたり、無事貫通。

通り初めでは、関係者が貫通点で固い握手を交わしたほか、担ぎ込まれたたたる酒みそしが通過点に置かれると盛大に鏡開きが行われ貫通を祝った。会場を移して行われた



役員改選も行われた総会
＝鹿児島市のベイサイドガーデンで

る部分の工期内完成を目指して尽力して参りたい」と言葉を寄せた。

また、施工者を代表して(株)興村組の奥村太加典社長が「無事故無災害に努め、工期内の完成を目指すよう精進したい」と決意を述べた。

同トンネルは延長3945^{メートル}(本県側3060^{メートル}、熊本側885^{メートル})

新支部長に濱口義彦氏

県表具内装組合鹿児島市支部総会



濱口義彦新支部長

支部長は15日、鹿児島市のベイサイドガーデンで14年度支部総会を開き、第38回全表具連大会への参加等を柱とする新年度事業計画を決めたほか、任期満了に伴う役員改選

では、新支部長に濱口義彦氏(南天堂表具店)を選出した。

総会では冒頭、物故者に黙とうを捧げた後、桐原支部長は「非常に厳しい中、皆様方には支部に席を置き、日頃から多大なご協力を頂くと、心から感謝しております」と挨拶すると共に、「今後は自らが勝ち残るために、率先垂範して努力することが大事である」と呼び掛けた。

引き続き、片平貞夫氏(片平ふすま内装)を議長に議事に入り、13年度追加受付け中

追加受付け中

吉田町14年度指名願い

鹿児島県吉田町(西園寺町)の14年度入札資格審査(指名願)は、今年度は追加受付けとなっており、現在随時受け付けを行っている。

申請書は、県に準ずる(A4)様式。提出は、建設工事関係が建設課、コンサル関係が耕地課となっている。

問い合わせは、同町建設課(吉田町本城169番 099-294・221)まで。

また同日は、総会に先立ち今年4月1日からスタートする「事業系」の規則について勉強会を装

計「内村昭治(内村内装表具店)▽理事「前島良一(前島表具店)藤田親康(藤田広華堂)▽監事「下園昭毅(下園表具内装)

新役員は次の通り。

支部長「濱口義彦▽会

建設業経営革新講習会

有利な事業承継を解説



建設業経営革新講習会

建設業の経営革新を促進する一環で実施されたもので、県内建設業事業主ら約400人が受講。冒頭、県建設業協会の内田清専理事長が「今後は従来型の公共事業は減り、新規事業に取り組む戦術も必要となる。本日は、事業承継と税制面の対策が中心となるようが、各社の企業経営にから講義。そして、役立てて頂きたい」と挨拶。

続いて、税理士の久慈伸樹氏が、オーナー社長が亡くなった場合の相続税の計算の流れから講義。そして、「年間110万円までの贈与は非課税なので、相続税と贈与税の関係をつまづ捉えるべき」とアドバイス。

また、自社株の評価と株価対策のほか、株主名簿の再チェック、同族株主の位置関係の把握、生命保険の有効活用など、何を調べ、専門の税理士にどのよう相談すればよいかのポイントも説明した。

相続・贈与税に関する講義に聴き入る受講者「鹿児島市の県建設センターで